ゆたかクラブ豊橋だより

吉田春秋

第61号

市花：つつじ

■発行／ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）　■編集協力（株）博報社／名古屋市北区田幡2-13-23 2F-B ☎0120-0212-09

地域で活躍する老人クラブ

ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）
会長　今川　智嗣

会員の皆さまにおかれましては、日頃よりゆたかクラブ豊橋の活動にご理解とご協力をいただいておりますことを厚くお礼申しあげます。

さて、ゆたかクラブ豊橋では、会員の皆さまのご協力もありまして、趣味の作品展や、演芸大会、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、吹き矢の各種大会など、年間を通じて、多彩なイベントを開催しております。各クラブにおきましても魅力的な取り組みをしていることと思います。

しかしながら、このような活動にも関わらず、ゆたかクラブ豊橋の会員数・クラブ数は減少傾向にあります。これは、時代の変化、価値観の多様化によるもので、仕方のないことなのでしょうか？

私がいつも考えておりますのは、少子高齢化により社会情勢が大きく変わるなかで、我々シニア世代は、地域でどのような役割を果たしていくのか、あるいは、子や孫の世代にどのような行動で見本を示すのか、ということであります。

それは、会員の皆さまが老人クラブ活動を通じて既に実践していることではありますが、自ら率先して健康維持や介護予防に努めること、そして、薄れつつある地域の絆を我々が間に入って取り戻すことではないか、と思います。時には、子供や子育て世代を含めた地域の課題に思いを巡らすことも必要かもしれません。

こうした心がけや行動により、次の世代が憧れる輝くシニア、かっこいいシニアを目指しましょう。そうすれば、会員増加の道も開けてくるのではないでしょうか。

今後ともゆたかクラブ豊橋の活動にご協力の程よろしくお願いいたします。

～平成30年度 新役員の紹介です～

会長
今川　智嗣

副会長
鈴木　和男

副会長
前田　恭

副会長
夏目　定

会計
杉浦　丈雄

監事
朝倉　規幸

監事
高橋　秀俊

総務部長
鈴木　純夫

広報文化部長
兼高師ブロック代表
小山　正博

社会部長
小嶋　義雄

保健体育部長
兼つつじが丘ブロック代表
滝川　幸三

レクリエーション部長
鈴木　正宏

生きがい事業推進部長
岩月　淳一

交通安全対策推進部長
寺田　邦夫

女性部長
戸鹿島はつ子

女性部副部長
野口八重子

仁連木ブロック代表
伊達　勲

大岩ブロック代表
縣　孝一

牟呂ブロック代表
田中　嘉明

大清水ブロック代表
神藤　英教

下地ブロック代表
内藤　克弘

石巻ブロック代表
神田　昭造

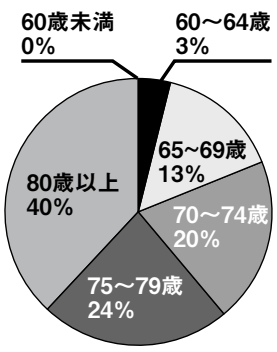
八町ブロック代表
木下　和彦

よろしくお願いいたします

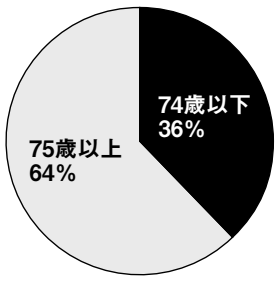
平成30年度　ゆたかクラブ豊橋年齢調査

◎ゆたかクラブ豊橋総会員数
15,206人
（男:6,614人、女:8,592人）
※74歳以下／5,476人
75歳以上／9,730人
◎ゆたかクラブ豊橋理事平均年齢
（平成30年度）**76.7歳**

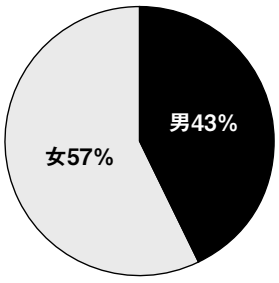
■年齢別



■前期高齢者・後期高齢者（75歳以上）比率



■男女比率



平成30年度　重点目標

1.「お互いさまのまち」づくりへの積極的な参画
支援を必要とする高齢者への声掛け、電球交換やごみ出しなど、生活支援の担い手としての活動に率先して取り組もう。豊富な経験や幅広い見識を存分に活かし、困ったときは「お互いさま」と気軽に声を掛け合える地域づくりをすすめよう。

2. 成功事例の共有と仲間づくり活動の推進
未加入者への「丁寧な勧誘」や「自治会等との連携」により会員が増えた好事例を積極的に取り入れよう。親しみやすい躍動的な組織として活動を積極的に周知し、活動を共にする仲間の輪を広げよう。

3. 活動しやすいクラブづくりの推進
会長や役員の役割をわかりやすく伝え、特定の人に負担がかかり過ぎないように配慮しよう。みんなの力を持ち寄り、持続可能なクラブづくりに努めよう。

4. 健康長寿を目指す健康づくり・介護予防活動の充実
いつまでも健康で生きがいを持って暮らし続けるため、楽しい趣味の活動やスポーツ活動を活発に行おう。共に笑顔の絶えない健康で充実した生活を目指そう。

平成30年度 豊橋市老人クラブ連合会総会

4月19日、平成30年度豊橋市老人クラブ連合会総会が豊橋市公会堂で開催されました。

第1部は夏目副会長の開会のことばで始まり、国旗拝礼、国歌斉唱、会員物故者に対する黙とうの後、今川会長からあいさつがありました。あいさつの中で今川会長は「少子高齢化によって社会情勢が大きく変わる中、われわれシニア世代は地域でどのような役割を果たしていくのか、あるいは子供や孫の世代にどのような行動で見本を示すのか、普段の活動の中で再認識し、実践に努めてまいりましょう」と呼び掛けました。

続いて顕彰へと移り、それぞれの代表者が舞台の上で感謝状（市長感謝状13人、市老連会長感謝状54人）を手にされました。

次に今川会長が議長に就き、議事へと入りました。議案第1号「平成29年度事業報告及び決算」、議案第2号「役員一部交代による後任役員の選任について」、議案第3号「平成30年度事業実施方針」、議案第4号「平成30年度事業計画及び予算」の全ての議案が拍手とともに承認され、夏目副会長の閉会のことばで滞りなく終了しました。

第2部シニアリーダー育成事業講演会では、理学療法士で株式会社Performance Reha代表取締役の神谷秀明氏を講師に招き、「元気に趣味を続ける身体づくり～グラウンド・ゴルフ、旅行などに役立つトレーニング～」と題して講演していただきました。

グラウンド・ゴルフでは、普段から良い姿勢を心掛けると肩や首の柔軟性が増し、より良いプレーが可能になるそうで、ポイントは肩甲骨の位置を意識して猫背にならないようにすること。腕が上がりやすくなり、重心が体の中心（みぞおちあたり）にくるのでスイングも安定するのだとか。また、首が柔らかくなるだけで視野が広くなり、狙いも定めやすくなるそうです。実際に会場全員で姿勢を正し肩甲骨を背骨に引き寄せるイメージで万歳の動作を実践しました。

一方、旅行を楽しむために欠かせない歩行能力については、健康を維持するための歩き方を伝授していただきました。姿勢を正し、正面の鏡を見たとき、自分の足の裏が見えるようなイメージで、かかとから着地する歩き方が重要で、そのためには足首で足の甲を上げる動作を心掛けます。これが無意識にできるようになると、つまずいたり転倒したりすることを予防できるそうです。

他にも片足立ち・スクワット・ストレッチなど有意義なメニューを伝授していただき、会場の参加者は手応えを感じ取っているようでした。

社会に貢献する老人クラブ

豊橋市福祉部長　西尾　康嗣

　ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）の会員の皆さまには、日頃より、本市の高齢者福祉施策に深いご理解と多大なご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

　さて、老人クラブの活動は、趣味活動やシニアスポーツなど多岐にわたりますが、その中で特に注目を集めているのが、社会貢献活動であると思います。寝たきり高齢者への訪問や地域の公園の定期的な清掃活動は、約40年にわたる長い歴史があり、また、昨年のシニアフェスティバルのチャリティーバザーでは、被災地支援のため売上げ金の多くを善意銀行に寄附されました。さらには、高齢者が気軽に集える「サロン」の運営にも、多くの会員が参加し尽力されています。これは普段自宅にこもりがちな高齢者にとっては、心のよりどころとなるものです。

　近年、価値観の多様化などにより老人クラブ会員数の減少が続いておりますが、こうした取り組みは、老人クラブの認知度と評価を高め、ひいては新たな会員の獲得につながるものと考えます。老人クラブは、単なる趣味活動者の集まりではなく、地域にとってなくてはならない団体です。これからも、地域や社会に貢献する団体として活躍していただきたいと思います。

　最後になりますが、ゆたかクラブ豊橋の今後のますますのご発展と、会員の皆さまの一層のご活躍を心より祈念申し上げます。

おしらせ

第55回 豊橋市高齢者福祉大会

　ダイヤモンド婚（結婚60周年）・金婚（結婚50周年）を迎えるご夫婦をお祝いいたします。

◆開催日時／8月23日㈭
　　　　　　午前9時30分〜
◆開催会場／豊橋市公会堂
◆開催内容／ダイヤモンド婚・金婚を迎えられたご夫婦への祝詞贈呈、思い出スライド、アトラクションなど

平成30年度 ゆたかクラブ豊橋　事業計画

月　日	行　事　名	場　所
4.19㈭	平成30年度総会	豊橋市公会堂
	平成30年度シニアリーダー育成事業講演会	
5月〜8月	シルバースポーツブロック大会	市内一円
6.5㈫〜6㈬	理事研修視察	豊田市交通安全学習センター
6.8㈮	第86回豊橋市囲碁・将棋大会	高師老人福祉センター
6.27㈬	女性部研修会	豊橋市民文化会館
8月上旬	広報紙「吉田春秋」8月号発行	
8.19㈰	いきいきフェスタ出展	ライフポートとよはし
8.23㈭	第55回豊橋市高齢者福祉大会	豊橋市公会堂
9.15㈯〜21㈮	第1回友愛訪問	各校区指定場所
	一声運動強化週間（前期）	市内一円
9.20㈭	老人クラブ社会奉仕の日	市内一円
9月〜10月	市老連ブロック別演芸大会	各センター
9.26㈬	第20回ペタンク大会	豊橋球場
10.3㈬	第42回ゲートボール大会	豊橋球場
10.24㈬〜26㈮	第13回とよはしシニアフェスティバル	豊橋市民文化会館
	（第50回趣味の作品展）	
	（第27回女性部チャリティーバザー）	
10.25㈭	（第41回趣味の演芸大会）	
11.6㈫	第20回グラウンド・ゴルフ大会	豊橋球場
11.15㈭	第28回豊橋市シルバースポーツ中央大会	豊橋球場・陸上競技場
11.26㈪	冨安貞夫杯　第6回ゴルフ大会	新城カントリー倶楽部
12.6㈭	交通安全街頭啓発	市内一円
12.12㈬	第6回ボウリング大会	岩屋キャノンボウル
1.17㈭	第6回吹き矢大会	豊橋市民文化会館
2月上旬	広報紙「吉田春秋」2月号発行	
2.5㈫〜11㈪	第2回友愛訪問	各校区指定場所
	一声運動強化週間（後期）	市内一円
2.21㈭〜22㈮	単位老人クラブ会長・女性部長研修旅行	未定
2月〜3月	趣味の教室作品展・発表会	各センター
3月下旬	ブロック別会長研修会	各センター
通年	自転車教室	各ブロック

※事業・会議日程については、関係機関との調整により変更となる場合があります。変更する場合、理事会を通じて連絡いたします。

【理事研修視察】

豊田市交通安全学習センター他見学視察

交通安全学習センター（外観）

今年度のゆたかクラブ豊橋理事研修視察は、豊田市交通安全学習センターと日本聴導犬トレーニングセンターで行いました。

近頃、高齢者の交通事故が多く報道されており、われわれにとって身につまされる思いです。

交通安全学習センターでは、事故分析結果を報告され、ワースト1の愛知県、特に豊橋は生活道路での事故が多かったことから、生活道路の事故防止を重点的に取り組んだ結果、減少傾向が見られているとのことでありました。

また、見学者の反射能力検査もあり、一例として、スクリーンに映し出される指示に従って4つのボタンの中から素早く選んで、反応時間を調べるものもありました。

自動車の周りにカラーコーンを置いておき、運転席に座ってコーンが見えるか見えないかを確認することにより、自動車の死角の大きさを体験できました。

その後、日本聴導犬トレーニングセンターへ移動し、犬の訓練の様子を見学しました。音に反応し、そのことを聴覚の不自由な人に知らせることができるように犬を訓練します。ドアのノック音、電話着信音、目覚まし…多々ある「音」を聞き分けて、知らせる任務を果たせるよう訓練しますが大変なことです。訓練士さんは一言「できたときには褒めることが大切です」と言われました。

運転席から見えないカラーコーン

聴導犬

今回はいろいろな施設を視察することができ、有意義でありました。多くの人に、このような施設があることを知っていただくとともに、有効活用して交通事故の防止や障がい者への温かい思いやりが広がっていくことを願っています。

（総務部長　鈴木　純夫）

第86回 豊橋市囲碁・将棋大会を迎えて

今年は井山、羽生両氏が囲碁・将棋棋士として初の国民栄誉賞を受賞しました。囲碁・芝野七段、そして将棋では4カ月足らずで三つの段位を上げ新七段になった藤井聡太君が活躍し、全国に一大ブームを巻き起こしています。

そんな中、去る6月8日に年1回の豊橋市囲碁・将棋大会が高師老人福祉センターにて盛大に行われました。参加者たちも、ブームにあやかり少しでもプロ棋士たちに近づけるようにと、1年間の成果を発揮すべく熱戦を繰り広げました。総勢82名が勢ぞろいしました。また、試合前には神妙な顔つきで盤とにらめっこして、開始を待ちわびる様子がうかがえました。

1人四番勝負で競い合いますが、早打ちの人、マイペースの人さまざまです。勝負の展開が進むにつれ、その一打が命取りになることもあり甘い判断が勝負を決することにもなります。参加者の闘志溢れる気迫に圧倒され緊張感に包まれて、室内はシーンと静まり返っていました。1、2戦を指し、3戦を終えた人から、順に弁当の休憩時間となり、唯一の頭を休める時間帯でした。中には4回戦をどう戦ったら優勝に近づくかと作戦を立てる人もいたでしょう。

そして、最後の4戦目が終わり優勝決定戦ともなると、やはりブロックごとのレベルの高さを感じました。激戦の末、優勝が決まったのは午後3時過ぎでした。入賞者は賞状を手に、すでに来年へと気持ちを切り替えていました。

最後になりましたが、参加した皆さん、スタッフの皆さんのおかげで素晴らしい1日を過ごせました。お疲れ様でした。

（レクリエーション部長　鈴木　正宏）

大会結果（敬称略）

囲碁の部A（参加者…25名）		
優　勝	小林　和雄	植　田
準優勝	角村　義幸	高　師
囲碁の部B（参加者…23名）		
優　勝	林　　正明	高　豊
準優勝	磯部　　淳	二　川
囲碁の部C（参加者… 7名）		
優　勝	石黒　信彦	飯　村
準優勝	花井　俊典	栄
将棋の部A（参加者…17名）		
優　勝	小林　正和	鷹　丘
準優勝	前田　　廣	高　豊
将棋の部B（参加者…10名）		
優　勝	本多　清成	汐　田
準優勝	白井　　正	二　川

上位入賞の皆さん

校区・単位クラブ活動

前芝校区

子供たちと「昔の遊び」で交流会

前芝校区老人クラブ連合会　前田　恭

前芝校区シニアクラブは2月9日、前芝小学校1年生28名と「昔の遊び」を通じて交流会を行いました。

先生方と話し合った結果、今の子供たちは昔の遊びを知らないので、ぜひ教えてほしいとの結論になり、そのねらいとして

○昔の遊びを通じて地域のお年寄りとの交流を楽しむ
○お年寄りから楽しく技術を学ぶことで、伝承遊びの技術向上への意欲を養う

となりました。

われわれシニアクラブとしては、子供たちと一緒に遊べる等、お互いの目標が一致したところです。そこで次の段階として、どんな遊びがいいか検討したところ、最終的にお手玉、あやとり、こままわし、竹とんぼ、けん玉の5種目と決定しました。

当日、前芝小学校体育館で子供たちとシニアクラブ20数名による「昔の遊び」交流会が始まりました。

子供たちは各種目に大声で、「できたー」「やったー」等おおはしゃぎでした。一方シニアクラブのみんなも子供たちからパワーをもらい、楽しい時間を過ごすことができました。そしてすべて終了後、シニアクラブの用意したみたらし団子をみんなで食して楽しく、和やかなうちに終わりました。

後日、子供たち全員による作文集が届いてみんなビックリ仰天、そして感激の渦に包まれたのは言うまでもありませんでした。子供たちの喜んだ文字が踊り、みんな来年も子供たちからパワーをもらい頑張ろうと誓い合いました。

おしらせ

第13回 とよはしシニアフェスティバル

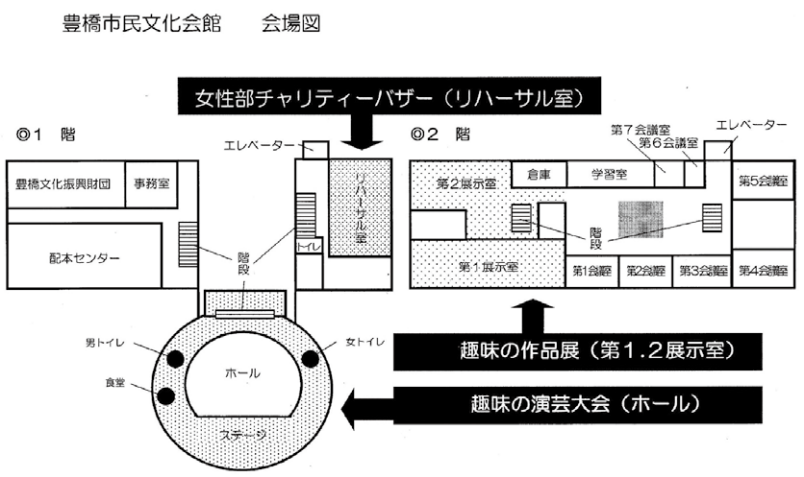
第41回 趣味の演芸大会

「趣味の教室」の演芸種目に参加されている皆さまが、日頃の練習の成果を披露されます。

民謡・舞踊・詩吟・歌謡曲・童謡唱歌・健康体操・ダンスなど、ジャンルは多岐にわたります。元気にご活躍されている皆さまにご声援をお願いします！

◆開催日時／10月25日㈭
開場　午前9時
開演　午前9時30分
◆開催会場／豊橋市民文化会館　ホール

豊橋市民文化会館　会場図



第50回 趣味の作品展

普段から熱心に作品づくりに取り組んでおられる皆さまの、素敵な作品を会場に展示いたします。

絵画・絵手紙・写真・書道・俳句・川柳・生け花・水墨画・手工芸品など、数多くの力作が会場に並ぶほか、設楽町の皆さまの作品も展示されます。

◆開催日時／10月24日㈬～10月26日㈮
午前9時～午後4時
※最終日は正午まで
◆開催会場／豊橋市民文化会館　2階展示室

第27回 女性部チャリティーバザー

毎年恒例のチャリティーバザー。掘り出し物が見つかるかも…。お早めに来場されることをおすすめします。

ご家族、お友達もご一緒にどうぞ！

◆開催日時／10月24日㈬～10月26日㈮
午前9時15分～午後4時
※最終日は正午まで
◆開催会場／豊橋市民文化会館　1階リハーサル室

校区・単位クラブ活動

栄校区

栄校区高齢者演芸大会

山田町シニアクラブ銀友会
小野マスヨ

毎年、7月と2月に山田町公民館で栄校区各町内の老人クラブに加入している皆さま方が、たくさん集まりまして、午前9時より高齢者演芸大会が始まります。それぞれが自慢のカラオケや踊り、社交ダンス、ハーモニカ、そして各会の皆さんによる趣向をこらしと話します。

最後には、いろんな物が当たる抽選会があります。お米や日用品、雑貨などの景品をお土産に、事故もなく帰路につきます。ありがとうございました。

各町の役員さま、配慮や心配り、ご協力ご苦労のたまもので無事続いています。ありがたく感謝しています。

本年度も7月8日、第1回目を開催し、例年通りの楽しい会になりました。ありがとうございました。

芦原校区

春の日帰り親睦旅行

高師町明生会　橋本真寿美

芦原校区恒例、春の日帰り親睦旅行が5月16日に5クラブ・参加者71名が大型バス2台に分乗して午前8時、地元を出発しました。車内では早速、飲み物やお菓子等が配られ盛り上がりました。

はじめの観光は、島田市ばらの丘公園見学で360種・8700株のバラが咲き乱れ、花の色彩が見事でした。全国のばら公園ブースでは、愛知県は西尾市の大輪「にしお小町」が展示されていて、目の保養となりました。

お楽しみの昼食は、由比の名物であるかき揚げ桜えび定食をいただきました。

午後は、この旅行のメーンイベントである富士宮市にある富士山世界遺産センターの見学です。円すい形の建物で、その内部はらせんスロープで4階（頂上）まで登っていきます。途中の壁面からは、富士山、昼夜の富士市、相模湾、伊豆半島等の風景が投影され、自分が頂上まで登山した気分になりました。また、展示パネル館では、富士山に関する信仰、誕生、古文書等々の説明がされていました。

富士周辺は曇りやもや等により、霊峰富士の姿が見られないかと思っていましたが、西富士道路で瞬間、車窓より富士の姿がうっすら見られて感激しました。

最後に焼津市で買い物をし、車内でビンゴゲームを楽しみました。皆さまのご協力により、トラブルもなく無事帰宅することができました。

津田校区

サロンを立ち上げて

西日進会　笹野　君夫

迷っていたら何もできないと言いながらも、内心不安が過ります。

毎月第3木曜日開催と決め、立ち上げて2年を迎えます。今はすっかり定着した「なごやかサロン日進会」、参加者20数人で、カラオケあり、各種ゲームあり、時にはイベントとしてボランティアによる落語や笑いヨガ等。また、年間通して折り鶴千羽を皆で折って、保育園・福祉施設へ寄贈など「楽しみ・愉快・全員参加」を心掛けています。

私自身も趣味の作曲で、下手な歌を聞いてもらい大いに楽しんでいます。これからも有意義で多くの皆さんに喜んでもらえるサロンを、根気よく続けていこうと頑張っております。

※日進会の歌を作り皆で歌っています。

今日も元気を有り難う

1.北風ヒュルヒュル
冷たいけれど
路傍のスミレに春を見た
巡る季節に心が弾む
小さな幸せ分け合って
健気に咲きます日進仲間
今日も元気を有り難う

2.秋風爽やかたなびく雲よ
背筋を伸ばして深呼吸
笑顔嬉しいあなたと私
健康第一百までも
生き生きハツラツ
日進仲間
今日も元気を有り難う
健康第一百までも
生き生きハツラツ
日進仲間
今日も元気を有り難う

校区・単位クラブ活動

牟呂・汐田校区

わが老人クラブの例会について

市場第一みなと会　杉浦　丈雄

老人クラブでは多くの地区で食事会が開催されていますが、わが老人クラブの食事会の内容を紹介します。会員数は、第一みなと会と第二みなと会を合わせると189名が在籍しています。

5年前までは、白米を炊き、みそ汁を作り、けんちん、ポテトサラダ、ほうれん草のごまあえ、お汁粉等をすべて手作りして会員にふるまっていました。ドラム缶を2つに切った「おくど」を使い、まきを燃やして「はそり」という大きな鍋を3個使用し、主に男性が中心でレシピに基づいて料理を手作りします。味を途中でみますが、ときどきしょうゆを入れすぎたり、煮つめすぎて煮くずれがして、うまくできないこともしばしばあり、先輩方にご指導を受けることもありました。

作業中の役員は、最初の1年目はうまくいかなくても、2年目に入りコツがわかると楽しくなり会話も弾みます。先輩後輩のつながりが知らず知らずのうちに深まっていきました。

近年若い会員の加入が激減して、料理はスーパーの弁当に変わってしまいましたが、みそ汁だけはまだ手作りしており、毎回120名前後の方が年4回の例会を楽しみにしております。

カラオケ同好会が休会し、現在余興はビンゴ大会に変わり、ティッシュ1箱に一喜一憂しています。また今年の5月の例会からは、役員の意向で誕生日プレゼントも加わり、例会は変わりつつあります。

多くの会員の方が次の例会を楽しみに待っています。

岩田校区

ふたば会に気楽に入ろうよ

北岩田一区老人クラブふたば会　小椋かつ子

2月の末に犬山城、お千代保稲荷へ日帰り旅行に行きました。

長良川ホテルで昼食。大広間に観光バス5台分の人数が入り、どこに誰がいるか分からない中で中学時代の友達に声を掛けられ、子供の頃の懐かしさが込み上げとてもうれしく思いました。また吉田春秋の記事が目に留まり、名前を見てもしかしてと声を掛けてくれた人。主人が亡くなったことを知りましたと言ってくれた人。私の書いた作文がこんなに反響があるとは思いませんでした。

はじめはただの認知症予防で書いていただけなのに、思いがけない人に会えるとは。私もまだまだ若いからと思っていたけど年は年。老人クラブに入っていろんな人とお付き合いをして、常にアンテナを張って認知症にならないようにしています。

今はカラオケブーム、町内の人とおしゃべりしながら大きな声を出して、若い者には負けんぞという気持ちで歌っています。

今年も老人クラブで春の日差しを浴びながら花見をしました。天気も良く、昨年のように雨で中止にならず最高のお花見。チラホラ舞い散る桜の下での食事、ゲームと楽しい1日を過ごしました。いつもは1人寂しく味気ない食事ですが、大勢で食べるとまた一味違いました。

皆さんも家でテレビのお守りより、ふたば会に入って老後を楽しみませんか。待ってまーす。

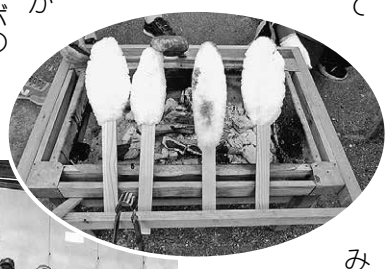
玉川校区

年間を通して多趣味の和楽会

和楽会　杉浦　敬一

会員数88名の紳士淑女が、常に全員参加とはいきませんが、力と美貌に自信のある平均年齢76歳の男女がお社の庭先をお借りして、フルコースが設定できるグラウンド・ゴルフを楽しんでいます。

週2回ほどのサイクルで大会を開催し、腕を競い合います。無論、おやつタイムもしっかりキープ。コーヒーに手作りのパンケーキ、土産物のお菓子、自慢のたくあんから軽トラ市ならぬお野菜の無料配布まで、郊外の住人ならではの交流があります。なんといっても会員の半数が農業経験豊富なつわもの揃いです。



恵まれた環境の中で、グラウンド整備も全員が力を合わせ、トンボの整列はプロ並みです。

先日は「五平もち祭り」を女性の有志が開きました。思い思いに自分の手ひらでつくり、その場で焼き上げ自慢のタレをたっぷりしみ込ませ、腹いっぱいいただきました。次はイモ煮会を開くと意気揚々と頑張っています。

他に3カ月に1回ほどの割合で市民講座とフリーカフェを開きます。これは近くにある福祉施設のパンを活用することで、少しでもお役に立てられればと前会長の試みで毎回行っています。

町中と違い、交通の便がいいとは言えませんが、まだまだ自らがハンドルを握らないと日常の生活に不便を来す町内です。健康増進のため、ラジオ体操、お社参拝、腹いっぱいの時事放談を楽しみ、成績は二の次。今日も大笑いしながら楽しんでいます。

会員随想

古希・喜寿とゴルフ雑感

大清水校区
第一豊寿会
小嶋　義雄

私も数年前に古希を迎えました。現在は元気ですが、65歳の時に会社勤めから解放された気の緩みから、肋膜炎を患い、50日間も入院し皆に迷惑をかけました。

そんな厳しい時期もありましたが、地域の人たちとの交わりが生活に張りを与えてくれ、私も元気に古希を迎えられました。この交わりの中心は四G会というゴルフの交友で、もう10年近く続いています。

四G会は月に1回はコースへ出ます。その後、必ず反省会を行います。帰宅後に近くの居酒屋へ再集合し、焼酎のお湯割りを飲みながら、よもやま話を楽しみます。

そんな時期に、私は石原慎太郎さんが古希の頃に書き下ろしたという「老いてこそ人生」という本に出合い、感銘を受けました。この本で「自分から老いを真正面に受け止めた方が、自らのダメージを小さくすることができる」と諭しています。この慎太郎さんの悟りをゴルフで体現してくれるのが、四G会のリーダー格の先輩です。

この先輩は喜寿を迎えた近頃、球が飛ばなくなったとグチリながら、要所でパーを拾い涼しい顔です。私のゴルフは、心技体共にこの先輩の足元にもおよびません。しかし、下手な私も「喜寿」までゴルフを楽しみたいと念願しています。

また、富安貞夫杯ゴルフ大会にも初回から参加しています。この大会に古希・喜寿を含めた幅広い年代に参加いただき、ますますゆたかクラブ活動が活発になることを念じています。

嘘のような本当のお話

富士見校区
ニューレイク第二クラブ
鈴木　正宏

ボウリングは、美容と健康に最適な有酸素運動だと聞いております。岩屋キャノンボウルでは、地域の皆さまにボウリングを通じて健康とより良い人間関係づくりのお手伝いをするために、いろいろなサービスを提供してくれています。

例えばキャノゴン会員になると、毎週木曜日の会員デーでは3ゲームまで無料で投げることができます。また、グループで予約すれば、プロによる4回の無料のボウリング教室を受けることもできます。マイクロバスでの送迎もしてくれます。岩屋キャノンボウルではプロが4名在籍し、懇切丁寧に指導もしてくれます。

ゆたかクラブ豊橋主催の第5回ボウリング大会の個人の部では、上位20名までに17名が会員で占められていました。これは嘘のような本当のお話であります。マイボウル、マイシューズを揃えればアベレージは30点、40点は間違いなくアップするはずです。私たちもアベレージ150点の目標で団体、個人共に優勝させていただきラッキーでした。

第6回を予想しますと、やはり富士見、吉田方、谷川の3強争いとなるでしょう。メンバーを入れ替えれば前回の真逆、谷川、吉田方、富士見と予想されます。谷川は団体、個人共に1、2、3位を独占する気配を感じます。私たちの3連覇は藻くずの泡と消えてしまうのでしょうか。当面の相手、吉田方に負けないように練習し接戦に持ち込みたいと思います。谷川には歯が立たないと思いますが。ここは虎視眈々と漁夫の利を願うのみです。乞うご期待を…。

梵鐘（ぼんしょう）

飯村校区
第二飯寿会
西川　文子

先日「世界！ニッポン行きたい人応援団」という番組を見て、梵鐘について深く知り胸を打たれました。

あるアメリカの人が釣鐘に興味を持ち、「初歩から完成まで習いたい」との希望に局の計らいで、高岡市老子（おいご）製作所を紹介されました。この会社は各地の鐘を造ることで知られ、数々の名鐘を残して400年の歴史ある会社。中でも古来「姿（形）の平等院」「銘の神護寺」「声（音）の三井寺」は日本三名鐘と呼ばれています。長崎の平和の鐘もここで作られました。また、京都西本願寺の鐘も形・銘共に素晴らしく、会社自慢の一つと言っていました。

三井寺の音は2分間もの余韻があること。また、鐘の上部には108個の乳（ち）といわれる突起があり、百八煩悩にちなんで鐘が作られていることを知り、私は思わず感涙しました。

鐘の製作工程を紙面でお伝えできませんが、気力と体力の長い年月がかけられていることも初めて知りました。

鐘の最後の外側の火泥を入れて「これでわれわれの仕事は終了しました」と手を合わせ、仕上がったばかりの鐘は火のように熱いので翌日外に出し、雨、風、寒風にさらすこと2年、それでやっと梵鐘と言われるとのこと。

製作を初めて体験したアメリカの人の苦労と感動はいかばかりかと、私は強く胸をつかれました。

京に住む孫家族が、記載の寺を全て訪れ、動画を送ってくれました。三井寺では、鐘をついて音を聞かせてくれて、敬虔（けいけん）な鐘の音は心に染み、穏やかな気持ちになりました。

今年の除夜の鐘は特別新たな気持ちで聞けそうです。

人の前で話せぬ不安と生きる

福岡校区
橋良西みどり会
鈴木　祥允

今から63年前に、私は大変大きな病にかかり、右手足、また人と話せぬ後遺症が少々残り、西みどり会役員・委員の皆さま方には大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ありませんでした。

私はこの西みどり会に入会いたしまして14年が経ちますが、入会して2年目から昨年までいろいろな役を頼まれました。今から9年前の2年間は、大変偉い大役を頼まれ、私は「はじめの言葉がなかなか出ず、どもるのでとてもこのような大役はできない」と断りました。結局役を受けることになり、会員皆さまの前に立ってあいさつをするとき急に声が出なくなり、会員皆さまが自分を見ていることを意識するとますます何も言えなくなり、黙ったままの私は周りをイライラさせていたことでしょう。

話せぬ私にとっては、考えれば考えるほどはじめの言葉がどもって出てこないため、力仕事なら少々手足の難があってもやってやれないことはないと思い、誰にも負けないよう続けてきたおかげで、西みどり会役員・委員の皆さまに頼られるようになりました。

年齢も後期高齢者になり、力仕事もだんだんと衰えがでてきて疲労を感じるようになりましたので、皆さまにも私の事情を知っていただき、役を退任させていただきました。なお、1月30日に西みどり会新年度の役員・委員が決まりました。

※西みどり会役員・委員の皆さまへ

わがままな私を最後までいろいろな面においで温かい目で見守り、ご指導していただきまして本当にお世話になりましたことを、心よりお礼を申し上げます。

戦争にまつわる私の体験(抄)8

二川南校区
二川南町寿会
山本　民男

一銭五厘

「お前たちの命は1銭5厘だが、馬は200円だ」戦地から帰った兵隊さんからよくでた話です。当時「はがき」の値段は1銭5厘（100銭が1円・10厘で1銭）で、はがき1枚あれば召集令状を出し兵隊さんを集めることはできるが、馬は買い上げなければならないから、大金が必要だったようです。

軍隊では上官（事実は下士官クラス）が冗談でおどしに使っていたのだと思います。軍隊に限らず、人命を極端に軽視したことは事実です。命を大切にしていれば、敗戦の悲惨さは数段少なかったと思います。

事実、命よりも大切なつまらない物がたくさんありました。天皇陛下の写真を火事で焼いたために自殺に追い込まれた校長先生、知人のお父さんは海軍軍人で、3度沈没させられたそうですが、軍刀を捨てたために生き延びたと聞きました。兵器にもならない日本刀を、武士の魂と後生大事にして体力を使い果たして、死んでいった多くの戦友がいたとのことでした。生死の境は紙一重で、漂流中の身に日本刀の重さはこたえたのだと思います。

若くして命をささげた特攻隊員の多くは、日本刀と共に自爆した人が多かったと聞いております。連隊旗等も命よりも大切な物の一つでした。（次号に続く）

板門店の思い出

富士見校区
ニューレイク第二クラブ
大須賀健司

45年ぐらい前、今話題の板門店を訪問した。当時は臨戦態勢で、国民をはじめ全ての民間車両も有事の際の役割が決められていた。夜11時以降は外出禁止、外国人客の多い一流ホテルも全て麦飯のピリピリした状態でした。

黄土色の軍服で完全武装した特別大柄なアメリカ兵（国連派遣）に対し、国境を挟んで鉄グリーン色の軍服で武装した北朝鮮兵が向かい合って立っている。お互いに顔は分かり、大声なら話し合えるくらいの距離。もちろん、撮影禁止。

その間の国境線上に建つのが南北会談用の木造平屋建て、いよいよ中に入る。

南北両側にそれぞれの出入り口と左右（東西）に明かり取りの窓、中央に片側数名ぐらいが向き合って座れる長い机と椅子だけの寒々としたものだった。その机の中心に国境を示す白線が1本、白線の両側にそれぞれの国旗が立ててある。

北朝鮮の国旗の方が大きい。後でガイドに確認したら、最初の頃はもっとひどかった。これでは話が違うと今までに二度、寸法を決める話し合いをしたのに…。差は小さくなったとはいえこんな状態です。向こうの1センチは、こちらの1センチより長いのですかね…とその当時、苦笑いしていました。

北朝鮮の強引さずるさを見たように思えました。

役は全て自分のためになる

飯村校区
東山シルバークラブⅡ
中村　北麿

現在、町の単位クラブと校区の老人クラブ会長を務めているが、新規の入会者が少なく後継者もいないのが悩みである。対象者に入会の案内を手渡しても快く受けてくれる人は少ない。仕事や健康上の理由の人を除けば①役をやらされるからイヤ。②入会しても面白いものがない。③誰からも拘束されたくない、という返事が大半である。

最近の傾向のように思うが、シニア層に無関心で受身型の人と、積極的で能動型の人がそれぞれ融和することなく二極化し、しかもそれらの方向が拡大しているように思う。その背景にはIT社会がもたらした便利さを享受し、複雑な行動や思考から解放されてきたことによると思われる。

私は現役時、仕事一筋にきたので世間の話題も少なく、今思えば偏った人間であった。現在はクラブの他に町内からも役を受けているので、多くの体験を味わい感謝するようになった。

当初、役は町やクラブのためにやらされていると思うと苦痛であったが、自分のためと思えば時間はとられるが多くの人との和が広まり、知識が身につき大きな徳が得られることに気づいた。現役時代にカバーできなかった偏りが補完でき、ありがたく思っている。

これからも自分のためにクラブの活動に積極的に参加し、健康寿命を全うし有意義な余生を楽しんでいきたいと思う次第である。

生きている限り終わりは無い

栄校区
弥生町大空会
小山　正博

まだまだという気持ちを、命尽きるまで持つ人はすごいなぁ。人の持つ悲しい習性、楽をしたくなる気持ちがふと湧いてくる。遊んで暮らせる生活に憧れるのは、お金の工面や肉体的な苦労やストレスを生む難儀な日々から逃れたい。しかし、ほっと一息つきたくなるのは、次へのステップへのエネルギーの補充のため。それが健全な精神の表れだろうか。

芸事に携わる人たちは、芸が生きて完成するとは思っていない。芸は形の表現。舞踊、謡（うたい）、書道、楽器を演奏する人たちも、聴かせるために日々鍛錬の連続。

ピアノやバイオリンを学ぶ子供たちの中には、毎日8時間はレッスンする子もいる。国際音楽コンクールの舞台に立つことを夢見て。厳しい指導の下に芽生える、至らなさは楽しい発見になるのでしょうか。

自分の至らなさに日々挑戦。ラジオで聞いた話。第一人者はそのための時間を1万時間費やすという。1日2時間とすると、14年は掛かる。費やした時間の中から何かを発見する。

芸事で頂点を極めた人たちは、100歳近くても心の中ではまだまだこれからと、思っているのでしょう。芸を通して心を磨き、近寄りがたい威厳を放つ。恥ずべきは普通の人でも、至らなさの自覚がなく生きていることかな。

ゲートボールに挑戦してみませんか

嵩山校区
東ふれあいクラブ
後藤　惇

「ゲートボールってご存知ですか」と聞けば、ほとんどの方は「知っている」と答えます。しかし、内容は大部分の人は知らないようです。多少知っている人でも「老人のスポーツ」とか、「よくゲーム中騒いでいる」などの答えが返ってきます。これはどちらも誤解です。

まず「老人のスポーツ」との質問ですが、あまり体力を要求しないスポーツなので、そのように思われがちですが、順番が来ますとボールを10秒以内に打たなければなりませんので、若い人の素早い判断力と運動機能が要求されます。東三大会、県大会などに勝ち上がっていきますのは、多くは若い人たちのチームです。平昌オリンピックで盛り上がったカーリング、囲碁、将棋にも似た競技だと思います。

「ゲーム中騒いでいる」とのご指摘ですが、高齢のため耳の不自由な人がおられます。最初は「ここにボールを打ちなさい」と言います。聞こえていないから少し大きな声で「ここへ打て」。3度目は先ほど述べたように10秒以内に打たなければ反則になるので、大声で「ここだ」と言います。通りがかった人は、また喧嘩していると誤解するのです。

以上がご質問の答えでありますが、ゲートボールの楽しみは、競技のほかに試合の合間、各チームの方たちと地域の情報交換や交流をすることです。多くの方の加入を期待いたします。

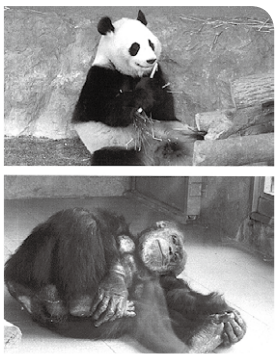
電気自動車で遠出旅

花田校区
西羽田町ゆたかクラブ
羽田　光江

主人が今年電気自動車を購入した。自宅に充電装置を取り付けたが、各所に充電スタンドがあるので遠出も可能と聞き、テストの気持ちで連休に旅行を予定した。目的地は紀州のアドベンチャーワールドで一日目、自宅で充電し出発した。

「土山サービスエリア」と「紀ノ川サービスエリア」で2回30分間急速充電を行い、紀州南部ロイヤルホテルに到着した。同ホテルで充電しようと思ったら普通充電設備だったので、他で探すつもりで二日目の観光の「アドベンチャーワールド」へ行った。

連休のにぎわいと話題のパンダが5頭いて、広い草原で笹の木を食べたり歩いたりで愛嬌を振りまき、イ



ルカのショーやペンギン、ホッキョクグマの餌やりを見た。また、サファリワールドも周遊バスで見物し、たっぷり遊べた。

次の目的地、伊勢志摩ロイヤルホテルへ向かったが、途中充電スタンドを見つけねばと探して、たどり着いた山の中の店舗では普通充電設備しかなく、また他を探して海側のホテルも普通充電設備だった。

少しずつ目的地方へ進みながら尾鷲市の日産自動車販売所へ到着し、ここで高速充電が100%できるというので、たっぷり休憩しながら90%充電できた。また、カーナビの画面で急速充電スポットのみを探す方法も教わった。こうして伊勢志摩ロイヤルホテルに到着したのは午後8時も過ぎて、すっかり疲れてしまった。

3日目の朝、同ホテルで急速充電を行い100%充電できたので、帰りは伊勢湾フェリーで帰宅した。

高速道路のない地方では、まだ急速充電器が完備されていなく、探しながら走るのは不安もあって困難を知った。でも良い経験ができて連休は楽しかった。

東三河の「なぜか？」小久保綴り方狂室

向山校区
いきいきクラブ
小久保　継

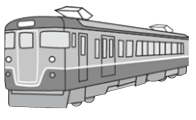
○豊橋名産だが、ちくわよりもかまぼこの方が作りやすい
なぜか？

○豊橋名物のダンゴ屋に泥棒が入ったが、すぐ捕まった
なぜか？
犯人を見たらし（**みたらし**）いダンゴが。

○豊橋名所のお寺に泥棒が入ったが、すぐ捕まった
なぜか？
ぶつぞう（**仏像**）と言うとどうぞ（**銅像**）許してー。

○湖西へぬける道路の左右に大量のゴミが捨ててある
なぜか？
530（ごみゼロ）をやりとげ（**峠**）たいがダメ（**多米**）らしい。

○新城から奥の人は、電車の本数を増やせと言いにくい
なぜか？
乗る人が少なく、増やしてくれと言い出せん（**飯田線**）。



○豊橋名物のダンゴ屋に泥棒が入ったが、すぐ捕まった
なぜか？
板（**タレ**）かが見ていたらしい。

会員文芸

俳句

■豊校区　三ノ輪本町本寿会
笑い声御酒を交えて桜見る　磯部　馨

■栄校区　弥生町大空会
水ぬるむ心溶かして春に酔う　小山　正博

■飯村校区　第二飯寿会
囀や列乱したるウオーキング　廣中　雅子
頬杖をついて居眠る春の風　佐野　栄子

■老津校区　老津俳句会
花粉症クシャミ残してひとり去る　石田　初江
蜆汁殻は根付と菊の根に　三浦　松代
夜の幕を開けて蛙の大舞台　彦坂　博子
初恋の香り漂ふ藤のはな　鈴木　純夫
蜆船湖面の夕日かきわけて　別所　善子
肉桂水赤青黄色笛太鼓　鈴木　陽子
酒好きの父が好みし蜆かな　明星　節子
新緑の影と光の大樹かな　平川　竹節
潮の香の時折深く春果つる　高橋いすゞ
桜咲く今日の陽ざしを身に受けし　竹内　澄子
風に乗り川面を染める椿かな　中神佐和子
米を研ぐ水やわらかし春のタ　山本千枝子
春の夜やかかり医なくて佳しとせむ　三浦　益子

■杉山校区　泉向山明日望会
春の夜の郷愁ひとり琴を弾く　井土　幸子

■大清水校区　第一豊松会
踊りつつ散る花影や別れ宴　鈴木　正子

■大清水校区　第二豊松会
綿毛とぶロマン求めて青い空　彦坂　登
円空の見つめる先に花筏　藤村　元司

■杉山校区　高明日望会
ひとひらの風の妖精花吹雪　彦田　純子

■大清水校区
大清水老人クラブ虹の会
金メダル称ふる拍手春炬燵　水野　せつ

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
春うらら土手に膝つき土筆摘む　小椋かつ子

■岩田校区　東岩田長寿会
御手洗に杓を躊躇う花筏　千賀　芳彦
春なれど冷えし日々あり暖恋しい　加藤カツエ

■吉田方校区　若波会
花びらのやさしく垂れて花菖蒲　河合　昭子

■牛川校区　若宮町ことぶき会
更衣若返りたる友笑顔　豊田　しげ

■津田校区　西日進会
孫卒業心に染みる別れ歌　笹野　壽

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
夫逝き何げない日々泪する
今も忘れじ待つ玄関へ　小椋かつ子

■岩田校区
北岩田三区老人クラブ福寿会
パンを千切り川の鯉等に餌やれば
桜の花も共に飲み込む　城　憲男
老いてなお好奇心のみ残りおり
心のままに今を楽しむ　伊藤みつよ
庭先のつつじ満開その花と
若葉美しそのコントラスト　大野　興子
柿の木に声張り上げて歌いいる
ウグイスの声に元気をもらう　藤田ひな子
新緑の光る庭先に出て見れば
朝日を浴びて揺れる蕗の葉　荒津　一男

■大崎校区　大崎ゆたかクラブ
子等集い花の宴のバーベキュー
食卓飾る一枝を伐る　田中さな江
ガラス戸をおおう結露は幾重にも
滴となりて朝日に光る　神藤みち子
此の仕事婆の役目と引き受けて
野菜作りと庭の草取り　近藤美代子

■吉田方校区　若波会
夫逝きて十三年は感謝の日
残り人生笑顔忘れず　河合　昭子

短歌

起き抜けに首を伸ばして麒麟まね
　外気吸ひ込むおとがひあげて
　丸山二三四

庭先の山椒の枝にあら枯れ葉
　指でつまんで引っぱれば蜥蜴
　横山　宜世

■吉田方校区　菰口町寿会
仕舞ったままの祖母の帯出しビーズ付け
　一針一針バッグの完成
　杉浦尊香子

■福岡校区
　橋良老人クラブ東みどり会
本宮山を下りつつ見れば山峡の
　深みに白き花咲く馬酔木
　田中　槙子

■豊校区　西岩田親睦クラブ
流れ星青々光り色変へて
　ひとすぢ象のマーラに注ぐ
　金田　英子

■飯村校区　シニアクラブ同好会
岩屋寺の鐘打つ人も様々に
　聞こゆ音色も微笑ましくも
　長坂　一昭

■富士見校区
　ニューレイク第一クラブ
五月晴れそよ風受けて田植する
　稲穂のダンス楽しく踊る
　早川　郁代

■栄校区　弥生町大空会
木洩れ日に春の妖精たたずんで
　緑柔らかに光に踊る
　小山　正博

■幸校区　南松原寿会
山坂を夫婦で歩む長き道
　我が子ら巣立ち五十年の日々
　伊藤富士子

朝八時駅構内は忙しなく
　人ひと人等が擦り抜けて
　大橋　睦子

戸隠の蟻の門渡り剣の刃
　越えてひととき天狗のこころ
　金子　浩吉

■松葉校区　北一好々会
八十路越えテネシーワルツ熱唱す
　大林　直子

■杉山校区　天津明星会
桜舞う待ったかけたい日曜日
　藤原　道子

■大清水校区　第一豊松会
八十路すぎ読めても書けぬもどかしさ
　坂神　克子

五月晴れ楽しく泳ぐ鯉のぼり
　小長谷あいの

群れもよし孤独もよしとする処世
　石川　重行

老いの日は月日と覚悟迫られる
　彦坂　昌代

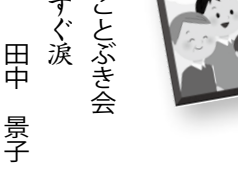
若き日に泣いてた時を取り戻し
　鈴木　正子

■大清水校区　第二豊松会
段差ない歩道で転び松葉杖
　彦坂　登

けだるげな仏の頬に紅をさす
　藤村　元司

■大清水校区　柳風会
膝痛の和らぐまでは冬ごもり
　平山　憲子

■岩田校区
　北岩田一区老人クラブふたば会
絵手紙はメールより粋な友の筆
　小椋かつ子



■老津校区　老津短歌教室
葉桜に五月の風が通りぬけ
　陽の移りゆく青きはつなつ
　石川　初江

囀りはお出かけ日和の誘い
　今日も連休明日はどうする
　鈴木　元恵

引き出しに不思議な鍵をみつけたり
　子等と遊んだ思い出の宝
　原田　玲子

春だより「みかん」ですよと届く筈
　今年も元気貴女はどうな
　栅木　早苗

逝きし友花散る頃と知りもせず
　仕事一途で一世終えたり
　伴浦　松代

牡丹咲き芍薬負けじと競い
　春の香りにみちみちた庭
　三浦　匡晃

春鶯の洩れ来る囀り見上げれば
　未だぎこちなさ笑みを誘う
　西沢ミヨ子

川柳

■中野校区　中野おあしす会
古稀だって興味あります不倫記事
　彦坂　吉尚

シルバーと言われてからの友が増え
　彦坂くみ子

■松葉校区　北一好々会
八十路越えテネシーワルツ熱唱す
　大林　直子

■杉山校区　天津明星会
桜舞う待ったかけたい日曜日
　藤原　道子

■大清水校区　第一豊松会
八十路すぎ読めても書けぬもどかしさ
　坂神　克子

五月晴れ楽しく泳ぐ鯉のぼり
　小長谷あいの

群れもよし孤独もよしとする処世
　石川　重行

老いの日は月日と覚悟迫られる
　彦坂　昌代

若き日に泣いてた時を取り戻し
　鈴木　正子

■大清水校区　第二豊松会
段差ない歩道で転び松葉杖
　彦坂　登

けだるげな仏の頬に紅をさす
　藤村　元司

■大清水校区　柳風会
膝痛の和らぐまでは冬ごもり
　平山　憲子

■岩田校区
　北岩田一区老人クラブふたば会
絵手紙はメールより粋な友の筆
　小椋かつ子

■幸校区　南松原寿会
山坂を夫婦で歩む長き道
　我が子ら巣立ち五十年の日々
　伊藤富士子

朝八時駅構内は忙しなく
　人ひと人等が擦り抜けて
　大橋　睦子

戸隠の蟻の門渡り剣の刃
　越えてひととき天狗のこころ
　金子　浩吉

■松葉校区　北一好々会
八十路越えテネシーワルツ熱唱す
　大林　直子

■杉山校区　天津明星会
桜舞う待ったかけたい日曜日
　藤原　道子

■大清水校区　第一豊松会
八十路すぎ読めても書けぬもどかしさ
　坂神　克子

五月晴れ楽しく泳ぐ鯉のぼり
　小長谷あいの

群れもよし孤独もよしとする処世
　石川　重行

老いの日は月日と覚悟迫られる
　彦坂　昌代

若き日に泣いてた時を取り戻し
　鈴木　正子

■大清水校区　第二豊松会
段差ない歩道で転び松葉杖
　彦坂　登

けだるげな仏の頬に紅をさす
　藤村　元司

■大清水校区　柳風会
膝痛の和らぐまでは冬ごもり
　平山　憲子

■岩田校区
　北岩田一区老人クラブふたば会
絵手紙はメールより粋な友の筆
　小椋かつ子

■老津校区　老津短歌教室
葉桜に五月の風が通りぬけ
　陽の移りゆく青きはつなつ
　石川　初江

囀りはお出かけ日和の誘い
　今日も連休明日はどうする
　鈴木　元恵

引き出しに不思議な鍵をみつけたり
　子等と遊んだ思い出の宝
　原田　玲子

春だより「みかん」ですよと届く筈
　今年も元気貴女はどうな
　栅木　早苗

逝きし友花散る頃と知りもせず
　仕事一途で一世終えたり
　伴浦　松代

牡丹咲き芍薬負けじと競い
　春の香りにみちみちた庭
　三浦　匡晃

春鶯の洩れ来る囀り見上げれば
　未だぎこちなさ笑みを誘う
　西沢ミヨ子

■岩田校区　東岩田長寿会
ダンディーも今じゃ小石で蹴躓き
　千賀　芳彦

■福岡校区　小池元町百寿会
遺影には若く写った旅写真
　中野芙美子

■福岡校区　橋良西みどり会
初ひ孫写真はあるが声聞けぬ
　鈴木　祥允

■牛川校区　若宮町ことぶき会
長い事飼った猫逝きすぐ涙
　田中　景子

■幸校区　南松原寿会
お礼柿冬鳥たちが賑やかに
　伊藤富士子

■吉田方校区　若波会
蜜柑花みつ蜂今日もさわがしく
　河合　昭子

■栄校区　弥生町大空会
甘い恋嘘が好きよと堕ちて行く
　小山　正博

■津田校区　西日進会
老二人こたつの中の〝小〟正月
　笹野　壽

追いつかん蔓延る略語外来語
　笹野　君夫

■飯村校区　第二飯寿会
孫二十強く育って娘をほめる
　夏目つたみ

気配りに触れて笑顔が満ちてくる
　河合　正秋

大丈夫私あなたの杖になる
　朝倉　立子

両腕を子に支えられ宮参り
　夏目　敏子

夕日落ち砂利を楽しむ下駄の音
　宮沢　哲

還暦にピアスをつけて母の春
　百鬼登志子

■東田校区　仁連木・東郷寿会
お題「月」

喜びも悲しみ月に語りかけ
　板橋　章一

旅の宿月といっしょに露天風呂
　畠　正行

日は海に月は山へと自然の美
　大石　綾子

月からの迎えに来たりて姫帰る
　大林恵以子

名月を嫉くのか台風邪魔をする
　河合　正年

良縁だ夜空に光る月あかり
　高橋　誠

三日月の雲間に映える月日和
　田中みや子

後から主人の頭月に似る
　藤井　克代

月旅行切符買ったと夢の中
　後藤マサ子

老眼で見えた満月十三夜
　榎島　謙一

お月様きれいに見えてアバタ顔
　佐原　久代

満月の光を浴びてうさぎ舞う
　鈴木いと子

裏あるのいつも表のお月様
　山本　健

■栄校区　弥生町大空会
木洩れ日に春の妖精たたずんで
　緑柔らかに光に踊る
　小山　正博

■富士見校区
　ニューレイク第一クラブ
五月晴れそよ風受けて田植する
　稲穂のダンス楽しく踊る
　早川　郁代

■飯村校区　シニアクラブ同好会
岩屋寺の鐘打つ人も様々に
　聞こゆ音色も微笑ましくも
　長坂　一昭

■豊校区　西岩田親睦クラブ
流れ星青々光り色変へて
　ひとすぢ象のマーラに注ぐ
　金田　英子

■福岡校区
　橋良老人クラブ東みどり会
本宮山を下りつつ見れば山峡の
　深みに白き花咲く馬酔木
　田中　槙子

■吉田方校区　菰口町寿会
仕舞ったままの祖母の帯出しビーズ付け
　一針一針バッグの完成
　杉浦尊香子

庭先の山椒の枝にあら枯れ葉
　指でつまんで引っぱれば蜥蜴
　横山　宜世

《インタビュー》
単位クラブ紹介
岩田校区平岡区老人クラブ若竹会にお邪魔しました。

インタビュアー／㈱博報社

伊達　勲 会長

平岡区老人クラブ若竹会は、平岡区の老人クラブが休会・解散後、新しいメンバーを迎え入れて平成22年4月に復活を遂げたクラブです。名称も、若々しいイメージを加えて〝若竹会〟としました。ここ最近は3年連続で会員数を5名以上増やしています。

◆未加入者の不安を払拭

現在、クラブの会長を務める伊達会長は新生クラブになってから3代目の会長です。市議会議員を経て自治会長を務め上げ、クラブ復活において役職に就いた伊達会長。新しいメンバーを募る際には、「クラブの役職は既に確定しているので、これから入る方は行事を楽しむことに専念できる」とアピール。〝入会すると役職に就かされる〟という未加入者が危惧していた不安要素の払拭に力を入れ、親しまれていれば、いざ入会のお誘いをした際に、違和感を持たないかもしれない。また、未加入者にはお試し期間にもなる」と期待を込め、取り組んでいます。

◆資源回収による雑収入がクラブの財源を潤し、円滑な運営を後押し

地域の方々と一緒に開催する行事は大勢の参加者でにぎわいます。中には景品が出される行事もあり、豊富な品揃えがさらに行事を盛り上げています。これらの行事開催や景品を揃える際に必要となる財源を〝資源回収による雑収入〟が担っています。

始めた当初はクラブの財源の足しにと想定していたそうですが、今では平岡区内6カ所で年間総回収量が4万kgに上り、得られる収入も想定をはるかに超えました。おかげでいろいろな取り組みができるようになり、充実した景品で参加者に還元することもでき、クラブの運営がいい方向に定着してきています。

「〝近所で気軽に楽しめる〟をキーワードに、会員一人一人がクラブの活動に参加することで地域内でのつながりを深め、ひいては安心して住み続けられるような環境づくりに今後も尽力していきたい」と語る伊達会長。お誕生日のお祝いではプレゼントにサロンで作った絵手紙を添えたり、行事開催前に全世帯に配布する告知チラシに当日行われるお楽しみ抽選会の抽選券を付けるなど、活動に楽しんで参加できるひと工夫が垣間見えました。

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

ゆたかクラブ豊橋

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をくださり、ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

ゆたかクラブ豊橋　広報文化部

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します（写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします）。
◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつでお願いします。
◎原稿は市内在住のゆたかクラブ豊橋に加入している方から募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。
◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。
◎締め切り／11月末日
◎投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局
（豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内）
☎51・2337